

地方創生に関するアンケート結果の概要

洞爺湖町の将来展望を考える！



～地域資源を生かした魅力あるまちを創造するために～

洞爺湖町の人口はピーク時（1970年）から約6,500人減少しており、9,418人（2015年6月末現在）となっています。国立社会保障・人口問題研究所によると2060年には、現在から更に約6,326人減少し、3,092人となることが予想されます。

これを受けて、洞爺湖町では人口の減少と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定するため、現況における町民の生活環境、経済や雇用、結婚・出産・子育て、高齢者の地域活動、観光、定住自立圏等に関わる意識を把握する『地方創生に関するアンケート調査』を、今年6月に実施し、内容がまとまりましたのでその概要をお知らせします。

洞爺湖まち・ひと・しごと創生有識者会議

現状の暮らしの満足度は？

暮らしやすさの満足度では、「①自然の豊かさ」に対して、8割以上の人が満足と回答しています。一方、「⑪働く場所がある」「⑭若い世代が結婚しやすい」などは不満が高く、地域資源を活用した住みやすい生活環境の改善が求められています。



暮らしやすさの満足度

